

R24b 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(6)

山村一誠 (ISAS/JAXA)、「あかり」チーム

赤外線天文衛星「あかり」の残した貴重なデータを天文学研究に有効に活用するため、われわれは衛星運用終了後もデータ処理・解析・アーカイブ活動を継続している。2013年4月より「あかりデータ処理・解析チーム」が活動し、今年度末までに全天サーベイに加えて指向観測データについても、できる限り多くの観測について“Science Ready”データを作成・公開することを目指している。

2015年春季年会においては、遠赤外線全天イメージの公開(土井他、Q20A)、近・中間赤外線撮像データの公開(江草他、W212a)を報告し、またデータ利用に関する説明会を実施した。現在、今年10月の公開を目指して、遠赤外線点源天体カタログ Ver.2 と遠赤外線フーリエ分光データの作成・検証・評価作業が大詰めを迎えている。また、中間赤外線全天イメージ、近赤外線分光データおよび撮像データ、遠赤外線指向観測データについても年度末の公開に向けてデータ解析・処理を進めている。これらの進捗状況、予定されているデータの内容について紹介する。

我々は、「あかり」データの科学的価値を高めるため、データに興味を持つ研究者の、データ作成・評価・アーカイブ活動への参加を歓迎します。また、独自の視点で大規模な系統的解析を行ったユーザーが作成したデータを収集し、アーカイブすることも行っています。お気軽に iris.help@ir.isas.jaxa.jp までご連絡ください。